

## □「地域づくり表彰」表彰式

### □司会

それでは最初に、国土交通大臣賞の授与を行います。まずは受賞団体のご紹介をいたします。

特定非営利活動法人日高わのわ会。当団体は、高知県高知市西部に位置する人口約4,800人の日高村で平成17年より活動を行っています。

地域が抱える課題をきめ細かく汲み取り、買い物支援サービス、地域特産品の開発・販売などの事業活動を継続的に拡大させながら地域課題の解決を行ってきました。

地域特産品の開発・販売では、地元農家で廃棄されてしまうトマトの活用を目指して、高知大学フードビジネスクリエーター講座に赴き、商品開発アイデアの収集を精力的に行いました。

また、団体の継続的な運営を目指して、障害者や高齢者、学生など地域の多様な担い手を確保しました。

このような活動を通して、現在の年間収入は活動当初から約8倍に増大し、事業活動を継続的に展開させるとともに、様々な地域課題の解決に対応できる体制が確立されました。

それでは、授与に移ります。青木副大臣は、ステージ中央までお進みください。

特定非営利活動法人日高わのわ会事務局長、安岡千春様はステージ中央にお進みください。

### □青木副大臣

表彰状、国土交通大臣賞、特定非営利活動法人日高わのわ会殿。

貴団体は、農家で廃棄されていたトマトを活かした商品の開発や、物流支援事業と連携した買い物支援サービスの提供など、多様な主体と協働して、継続的な事業活動及び地域の課題解決を図る取組を行い、地域雇用の創出など地域の活性化

に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を表彰します。

令和元年11月28日 国土交通大臣、赤羽一嘉。

おめでとうございます。



### □司会

次に、全国地域づくり推進協議会会長賞の授与を行います。まずは受賞団体3団体のご紹介をいたします。

鹿部町製品開発研究会。当団体は、北海道渡島半島東部に位置する、人口約3,900人の鹿部町で平成22年より活動を行っています。

昭和4年の駒ヶ岳大噴火の際に積もった軽石の吸水性に着目し、地元で水揚げされた魚介類と軽石を活用した「軽石干し」の開発を行ってきました。

商品開発の持続的な継続のために、北海道科学技術センターと連携して継続的に商品の共同開発を行ってきました。

また、「軽石干し」のブランド化・販路拡大を目指して、「軽石干し」の商標登録、地域施設や地域外の百貨店での販売促進を精力的に行ってきました。

このような活動を通して、「軽石干し」の売り上げは平成29年から30年にかけて20倍にも増加し、町内での雇用者増加にも貢献しました。

かまくら応援隊。当団体は、長野県北部に位置する人口約20,000人の飯山市で平成20年より活動を行っています。

豪雪地帯の文化の一つである「かまくら」を軸として、毎年開催される「かまくら祭り」及び「レストランかまくら村」の主権者として、かまくらの製造・維持管理、地元特産品の「のろし鍋」やどぶろくの製造・提供などを行ってきました。

かまくら祭りのイベントの拡充を目指して、いいやま観光局と連携した観光ツアーのプロモーション、飯山市や国際ボランティア団体と連携したイベントの運営を精力的に取り組んできました。

このような活動を通して、イベントへの参加者は平成29年から30年にかけて3倍に増加し、外国人観光客も増加するなど観光振興に大きく貢献しました。

特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ。当団体は、山口県山口市の北部に位置する人口約1,300人の阿東地福地域において平成23年より活動を行っています。

地域における買い物環境などの生活条件を確保し、地域コミュニティを活性化することを目的として、地域交流拠点ほほえみの郷トイトイを開設し、移動販売車による買い物施設提供、交流スペースを活用した介護予防事業などを行ってきました。

生活機能の持続的な維持を図るため、保健所や社会福祉協議会と協力した巡回体制を確保するとともに、利用者とのコミュニケーションを重視することでサービス利用者の増加・地域コミュニティの強化を図ってきました。

このような活動を通して、移動販売車のエリア拡大など生活サービス提供を充実させるとともに、様々な分野の活動で協力者が増え、住民の地域行事への参加増加に結びついています。

それでは、授与に移ります。峰唐津市長は、ステージ中央までお進みください。

受賞団体代表者はステージ前方にお進みください。

それでは、鹿部町製品開発研究会会長、高橋昱彦様、一步前にお進みください。

#### □峰唐津市長

表彰状、全国地域づくり推進協議会会長賞、鹿部町製品開発研究会殿。

貴団体は、地元の水産物と駒ヶ岳の軽石を活用し開発した「軽石干し」を軸にした地域づくりに、多様な主体と連携して取り組み、地場産業の振興、地域雇用の創出など、地域の活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を表彰します。

令和元年11月28日、全国地域づくり推進協議会会長、峰達郎。

本当におめでとうございます。



#### □司会

かまくら応援隊隊長、平井勝美様、一步前にお進みください。

#### □峰唐津市長

表彰状、全国地域づくり推進協議会会長賞、かまくら応援隊殿。貴団体は、豪雪地帯の文化を地域資源として活かした「かまくら祭り」を開催し、多様な主体と連携して、かまくらの製造イベントの拡充、観光ツアーのプロモーションなどを行い、観光振興など地域の活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を表彰します。

令和元年11月28日、全国地域づくり推進協議会会長、峰達郎。

本当におめでとうございます。



#### □司会

特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ事務局長、高田新一郎様、一步前にお進みください。

#### □峰唐津市長

表彰状、全国地域づくり推進協議会会長賞、特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ殿。

貴団体は、阿東地福地域における買い物環境などの生活条件の確保及び地域コミュニティの活性化を目指して、移動販売車による地域巡回、介護予防事業などを行い、地域の生活水準の向上、交流人口の拡大など、地域活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を讃えます。

令和元年11月28日、全国地域づくり推進協議会会長、峰達郎。

おめでとうございます。



#### □司会

次に、国土計画協会会長賞の授与を行います。まずは受賞団体のご紹介をいたします。

特定非営利活動法人今庄旅籠塾。当団体は、福井県の中央部に位置する、人口約10,500人の南越前町において平成22年より活動を行っています。

宿場町の町並み保全を図るため、旅籠であった宿や町家の改修・再生を行うとともに、改修された町家を活用して宿泊イベントの開催、町家カフェの運営などを行ってきました。

歴史的な町並み保存を地域全体で推進するために、町が主導する「今庄宿プロジェクト事業」へ参画し、次世代の担い手確保を目指して、高校生や大学生と協働した町家改修・宿泊体験の企画・運営を行ってきました。

このような活動を通して、これまで8軒の建物を改修し町家への訪問者が6年間で4倍にまで増加し、地域の文化継承及びコミュニティ活性化に寄与しました。

それでは、授与に移ります。幾度専務理事は、ステージ中央までお進みください。

特定非営利活動法人今庄旅籠塾理事長、高嶋秀夫様はステージ中央にお進みください。

#### □幾度専務理事

表彰状、国土計画協会会長賞、特定非営利活動法人今庄旅籠塾殿。

貴団体は、今庄の宿場町として栄えた町並みを、町の歴史と共に次世代に引き継ぐため、高校生など次代の担い手と協働して町家の改修を行い、イベントの開催、町家カフェの運営などにより地域コミュニティ形成を促し、地域の活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を讃えます。

令和元年11月28日、一般財団法人国土計画協会会長、伊藤滋。

おめでとうございます。



#### □司会

次に、日本政策投資銀行賞の授与を行います。まずは受賞団体のご紹介をいたします。

海部次世代園芸産地創生推進協議会。当団体は、徳島県の南東部に位置する人口約9,400人の海陽町において平成27年より活動を行っています。

他地域からの移住就農者の促進を目指して、地元の就農者から促成きゅうりの生産技術・農家経営について習得できる「きゅうり塾」を開設するとともに、次世代技術の導入による生産性の向上、地域の魅力あるライフスタイルの発信などを行ってきました。

生産性の向上のために、複数の大学と連携して実験ハウスを設立する取組や、移住によるライフスタイルの魅力発信のために趣味活動を含めた移住者の生活情報の発信を精力的に行いました。

このような活動を通して、これまで24名が地域外から移住・就農を果たすとともに、促成きゅうりの耕作面積が1ha増大する等地場産業の振興に寄与しました。

それでは、授与に移ります。杉元常務執行役員は、ステージ中央までお進みください。

海部次世代園芸産地創生推進協議会会長、濱崎禎文様は、ステージ中央にお進みください。

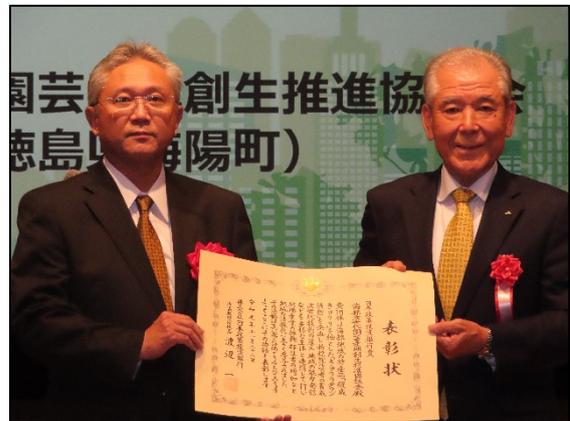
#### □杉元常務執行役員

表彰状、日本政策投資銀行賞、海部次世代園芸産地創生推進協議会殿。

貴団体は、海部地域の特産品「促成きゅうり」を軸とした「きゅうりタウン構想」を企画し、新規就農者の育成、次世代技術の導入、地域の魅力発信などを多様な主体と連携して行い、地場産業の振興、移住者の増加など地域の活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を表彰します。

令和元年11月28日、株式会社日本政策投資銀行代表取締役社長、渡辺一。

おめでとうございます。



#### □司会

最後に、地域づくり表彰審査会特別賞の授与を行います。まずは受賞団体2団体を紹介いたします。

みたか太陽系ウォーク実行委員会。当団体は、東京都心西部に位置する人口約188,000人の三鷹市で平成21年から活動を行っています。

三鷹市にある国立天文台と連携して、「科学文化」の振興と発展につなげる「みたか太陽系ウォークスタンプラリー」を開催し、JR三鷹駅を中心とした街全体にスタンプを設置し、地域の新たな魅力や他のイベントに触れられる機会を創出する取組を実施してきました。

こうした天文学の普及活動をとおして、地域の新たな魅力や他のイベントに触れられる機会を創出し、国立天文台の開催行事への参加者が増大するなど科学の裾

野の広がりを生み出しています。

CHITA CATプロジェクト。当団体は、愛知県の知多半島西海岸中央に位置する人口約59,000人の常滑市で平成27年から活動を行っています。

知多半島全体の地域活性化を目的として、中部国際空港セントレア、イオンモール常滑、知多半島の企業、団体、行政が連携して集客イベントの開催、訪日外国人向けのツアーや無料シャトルバス等による観光客誘致などの事業を展開してきました。

こうした取組を通じて、観光客数及び商業施設の売り上げは各エリアで増加が見られ、常滑の知名度が上がり、また訪れてみたい注目のエリアとしてリピーターを増やしています。

それでは、授与に移ります。安島座長は、ステージ中央までお進みください。

受賞団体代表者はステージ前方にお進みください。

みたか太陽系ウォーク実行委員会実行委員長、縣秀彦様はステージ中央にお進みください。

#### □安島座長

表彰状、地域づくり表彰審査会特別賞、みたか太陽系ウォーク実行委員会殿。

貴団体は、国立天文台が立地する地域で天文学を軸とした地域の魅力発見、交流活性化を目指して、みたか太陽系ウォークスタンプラリーを継続して実施し、科学の裾野拡大、交流人口の拡大など、地域活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を讃えます。

令和元年11月28日、地域づくり表彰審査会。

おめでとうございます。



#### □司会

それでは、CHITA CATプロジェクト、中部国際空港株式会社商業事業部長、鈴木健一様はステージ中央にお進みください。

#### □安島座長

表彰状、地域づくり表彰審査会特別賞、CHITA CATプロジェクト殿。

貴団体は、知多半島での地域活性化を目指して、国際空港、大型商業施設、自治体が一体となり、お笑いEXPOの開催、回遊観光ツアーの企画などを行い地場産業の振興、観光振興など、地域の活性化に大きく寄与されました。その活動は真に高く評価できるものであります。よってここにその功績を表彰します。

令和元年11月28日、地域づくり表彰審査会。

おめでとうございます。



#### □司会

これもちまして、表彰式を終了させていただきます。会場の皆様、本日受賞された皆様に、今一度、盛大な拍手をお願いいたします。